

香川県高体連卓球専門部のシード方法

2016.5.19

1. 個人戦の部

(1) 春季強化大会 (令和3年度 第2回部長会で決定)

☆シングルス…前年度の全日本選手権 (ジュニアの部) および全日本選手権 (ジュニアの部) 県予選・新人戦の結果により16位までをシードとする。

- ① 前年の全日本選手権 (ジュニアの部) ベスト32をシードする。
- ② 前年の全日本選手権ジュニア県予選のベスト4をシードする。
- ③ 前年の新人大会のベスト4をシードする。
- ④ 前年の全日本選手権ジュニア県予選のベスト8をシードする。
- ⑤ 前年の新人大会のベスト8をシードする。
- ⑥ 前年の全日本選手権ジュニア県予選のベスト16をシードする。
- ⑦ 前年の新人大会のベスト16をシードする。
- ⑧ 前年の全日本選手権ジュニア県予選のベスト32をシードする。
- ⑨ 前年の新人大会のベスト32をシードする。

※ 県外出身の選手もこれに準ずる。

※ 各校の顧問の先生は、県外出身の1年生選手の中学校での実績を申込時に申し出る。

☆ダブルス…新人大会のダブルスポイントと、全日本ジュニア予選のシングルスポイントを集計し、8位までをシードする。

- ・ペアとしてのポイントの集計方法は、各ペアのダブルスとしてのポイント (別ペアの場合はダブルスポイントの1/2の合計) にシングルのポイントを加算する。
- ・ペア変更で1年生と組んだ場合は実力が高いと思われるペアを同等のポイントとする。
(ペア変更により戦力がアップしたもののみ)
- ・ポイントは1位10点、2位8点、3位6点、4位5点、ベスト8は4点、ベスト16に2点を与える。
- ・同一校の対戦を避けるための移動はしない (平成21年度第2回部長会決定)
→ 同格の場合のみ同一校の対戦を避ける。
- ・シードに欠員がでた場合は、シード順位を詰めて最下位シードを空欄とするが、推薦がある場合は抽選で決定する。
- ・シード候補の辞退は認めない。

(2) 県総体

以下の別紙を参照

(3) 新人大会

☆シングルス……直前の3大会 (県総体・国スポ予選・全日本予選) のポイントを集計し、16位までのシードを決定する。
(国スポ予選と全日本予選については県卓球協会主催の大会なので、これまで通り直前の大会結果によりシードを決定する。)

- ・ポイントは1位10点、2位8点、3位6点、4位5点、ベスト8は4点、ベスト16は2点、ベスト32に1点を与える。

☆ダブルス……県総体のダブルスポイントとシングルスポイントを集計し、ペア8位までのシードを決定する。

- ・ペアとしてのポイントの集計方法は、各ペアのダブルスとしてのポイント (別ペアの場合はダブルスポイントの1/2) にシングルのポイントの1/2を加算する。
- ・ポイントは1位10点、2位8点、3位6点、4位5点、ベスト8は4点、ベスト16に2点を与える。

※1 ポイントが同点の場合は、直前の大会・その前の大会の成績により、順位を決定する。

2 直前の大会・その前の大会の成績で決定できない場合は、抽選により決定する。

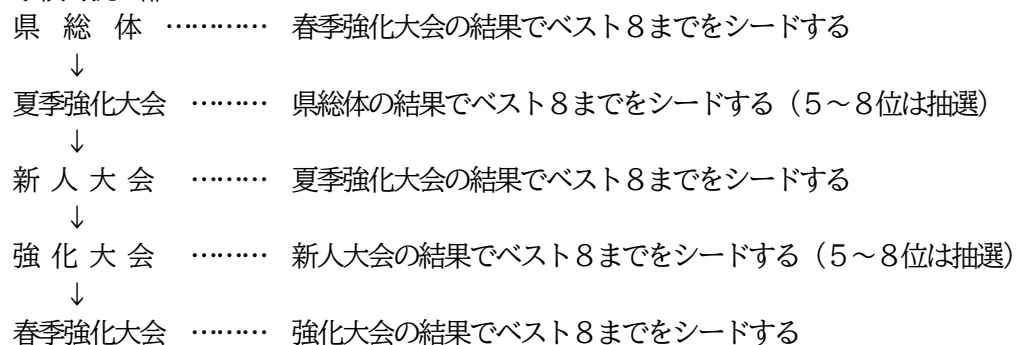
3 シード候補の辞退は認めない。(平成21年度第2回部長会決定)

4 3・4位の決定戦をしていない場合は、双方に3位のポイントを与える。

5 同一校の対戦を避けるための移動はしない。(平成21年度第1回部長会決定)

6 16決定で同一校が対戦しないように32位まで入れる。(平成21年度第2回部長会決定)

2. 学校対抗の部



※1 シード校の数について

（平成10年度第2回部長会決定したものを平成25年度第2回部長会で変更）

参加校数に関係なく8までシードをする。

※2 強化大会の参加制限は平成17年度よりなくなった。

シングルス

1 シードの規模

- (1) ベスト16～32までをシードする。
- (2) 可能な限りシードするが、候補がない場合は、下位シードを空ける。
- (3) ベスト32までのシードに入らなかった者については、64シード以降の上位に優先的に入れるようにする。
(※次のカテゴリに入れて抽選する 2012.5.18)

2 シードの順序

- (1) 全国大会上位の者をシードする。
 - ア 前年度全国高校総体ベスト32
 - イ 前年度全日本選手権大会（一般・ジュニア）ベスト32
 - ウ 前年度全日本中学総体ベスト16
- (2) 四国大会上位の者をシードする。
 - ア 前年度四国高校総体ベスト4
 - イ 前年度四国選手権大会（一般・ジュニア）ベスト4
- ☆ (3) 県内大会1位の者をシードする。
 - ・ 前年度県高校総体
 - ・ 前年度県国体選考会
 - ・ 前年度全日本選手権県予選会（ジュニア）
 - ・ 前年度県高校新人大会
 - ・ 当年度春季強化大会
- ☆ (4) 県内大会2位の者をシードする。
- (5) 四国大会5～8位の者をシードする。
 - ア 前年度四国高校総体
 - イ 前年度四国選手権大会（一般・ジュニア）
- (6) 前年度四国中学総体ベスト4の者をシードする。
- ☆ (7) 県内大会3・4位の者をシードする。
- ☆ (8) 県内大会5～8位の者をシードする。
- (9) 前年度県中学総体1・2位の者をシードする。
- ☆ (10) 県内大会9～16位の者をシードする。

《(4, 7, 8, 10)は(3)と同じ》
- (11) 前年度県中学総体3・4位の者をシードする。
- (12) その他
 - ・ 県外からの1年生も上記の基準に準ずる。
 - ・ 留学生については、春季強化大会で考慮する。
 - ・ ベスト32についても16までと同様に考慮し、できるだけシードする。

3 シードに関する留意事項

- (1) 上位シードから順番に決定する。
- (2) 原則としてランキング順にシードする。ただし、上記大会の3・4位、5～8位、9～16位は同格とし、シード位置を抽選で決定する。
- (3) 同一項目において重複してランクされている者は、その回数が多いものを優先させる。
~~その回数も同じ場合は、次のランクの回数の多い者を優先させる。(以下同じ)(2012.5.18)~~
上文を削除する。(2025.10.14)
- (4) 同一校の対戦は同格である場合のみ避けられる範囲で振り分ける。
ただし、17～32シードにおいては、同一校の対戦は避ける。

ダブルス

1. シードの規模

- (1) ベスト8～16までをシードする。
- (2) 可能な限りシードするが、候補がない場合は、下位シードを空ける。
- (3) ベスト16までのシードに入らなかった組については、16～32シードの上位に優先的に入れるようにする。

2. シードの順序

- (1) 全国大会上位の者をシードする。
 - ア 前年度全国高校総体ベスト16
 - イ 前年度全日本選手権大会ベスト16
- (2) 四国大会上位の者をシードする。
 - ア 前年度四国高校総体ベスト4
 - イ 前年度四国選手権大会ベスト4
- ☆ (3) 県内大会1位の者をシードする。
 - ・ 前年度県高校総体
 - ・ 前年度高校新人大会
 - ・ 当年度春季強化大会
- ☆ (4) 県内大会2位の者をシードする。
- (5) 四国大会5～8位の者をシードする。
 - ア 前年度四国高校総体
 - イ 前年度四国選手権大会
- ☆ (6) 県内大会3・4位の者をシードする。
- ☆ (7) 県内大会5～8位の者をシードする。
《(4, 6, 7)は(3)と同じ》
- (8) その他
 - ・ ベスト16についても8までと同様に考慮し、できるだけシードする。

3 シードに関する留意事項

- (1)～(3) シングルスと同じ
- (4) 同一校の対戦は同格である場合のみ避けられる範囲で振り分ける。
ただし、9～16シードにおいては、同一校の対戦は避ける。
- (5) 前年度県総体からのペア変更についてはランクを認めないが、新人大会・春季強化大会からのペア変更については、当該校の推薦順位の高い組から同一ランクとする。